# 千葉県立病院経営強化プランの 策定について

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室

電話番号: 043-223-2457 メール: chihuku@mz. pref. chiba. lg. jp

## R4.3.29付け「公立病院経営強化の推進について(通知)」



#### 「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」の概要

#### 第1 公立病院経営強化の必要性

- 公立病院は、これまで再編・ネットワーク化、経営形態の見直しなどに取り組んできたが、医師・看護師等の不足、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、依然として、持続可能な経営を確保しきれない病院も多いのが実態。
- また、コロナ対応に公立病院が中核的な役割を果たし、<u>感染症拡大時の対応における公立病院の果たす役割</u>の重要性が改めて認識されるとともに、病院間の役割分担の明確化・最適化や医師・看護師等の確保などの取組を平時から進めておく必要性が浮き彫りとなった。
- 今後、医師の時間外労働規制への対応も迫られるなど、さらに厳しい状況が見込まれる。
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、**限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点**を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、**公立病院の経営を強化していくことが重要**。

#### 第2 地方公共団体における公立病院経営強化プランの策定

- 策定時期 令和4年度又は令和5年度中に策定
- プランの期間 策定年度又はその次年度~令和9年度を標準
- プランの内容 **持続可能な地域医療提供体制を確保**するため、地域 の実情を踏まえつつ、必要な**経営強化の取組**を記載

#### 第3 都道府県の役割・責任の強化

- 都道府県が、市町村のプラン策定や公立病院の施設の新設・建替等 にあたり、地域医療構想との整合性等について積極的に助言。
- 医療資源が比較的充実した都道府県立病院等が、中小規模の公立病院等との連携・支援を強化していくことが重要。

#### 第4 経営強化プランの策定・点検・評価・公表

- 病院事業担当部局だけでなく、企画・財政担当部局や医療政策担当 部局など関係部局が連携して策定。関係者と丁寧に意見交換するとと もに、策定段階から議会、住民に適切に説明。
- 概ね年1回以上点検・評価を行い、その結果を公表するとともに、 必要に応じ、プランを改定。

#### 第5 財政措置

機能分化・連携強化に伴う施設整備等に係る病院事業債(特別分)や医師派遣に係る特別交付税措置を拡充。

公立病院経営強化プランの内容

#### (1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- · 機能分化·連携強化

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。 特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して 医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救 急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強 化することが重要。

#### (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ 医師・看護師等の確保 (特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化)
- ・医師の働き方改革への対応
- (3) 経営形態の見直し
- (4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

#### (5) 施設・設備の最適化

- ・施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- デジタル化への対応

#### (6) 経営の効率化等

経営指標に係る数値目標

## 県内各圏域の公立病院経営強化プラン策定対象の公立病院



### 千葉

- ◎千葉県がんセンター
- ◎千葉県総合救急災害医療センター
- ◎千葉県こども病院
- ・千葉市立青葉病院
- ・千葉市立海浜病院

### 東葛南部

・船橋市立医療センター

### 東葛北部

- ・松戸市立総合医療センター
- ・柏市立柏病院

### 香取海匝

- ・千葉県立佐原病院
- 銚子市立病院
- ・国保匝瑳市民病院
- ・香取おみがわ医療センター
- ・国保多古中央病院
- 東庄町国民健康保険東庄病院
- ・総合病院国保旭中央病院

### 山武長生夷隅

- · 大網白里市立国保大網病院
- ・東陽病院
- さんむ医療センター
- 東千葉メディカルセンター
- いすみ医療センター
- ・公立長生病院

### 安房

- ・鴨川市立国保病院
- ・南房総市立富山国保病院
- 鋸南町国民健康保険鋸南病院

#### 君津

- ・国保直営総合病院君津中央病院
- 国保直営君津中央病院大佐和分院

### 市原

・千葉県循環器病センター

## 地域医療構想との関係



## 「地域医療構想の進め方について」

令和4年3月24日付け 医政発0324第6号(厚生労働省医政局長 → 都道府県知事)

公立病院については、病院ごとに「公立病院経営強化プラン」を具体的対応方針として策定した上で、 地域医療構想調整会議において協議する。

## 「公立病院経営強化の推進について」

令和4年3月29日付け総財準第72号(総務省自治財政局長→都道府県知事 等)

- ・ <u>経営強化プランは、</u>「地域医療構想の進め方について」(令和4年3月24日付け厚生労働省医政局長通 知)により、当該公立病院の地域医療構想に係る具体的対応方針として位置付けることとされていること も踏まえ、<u>地域医療構想と整合的であることが求められる</u>。
- ・ 持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、<u>個々の公立病院が地域医療構想等を踏まえて、地域</u> において果たすべき役割・機能を改めて見直し、明確化・最適化することが重要である。
- ・ 当該公立病院の将来の病床機能のあり方は、構想区域における病床の機能区分ごとの将来の必要病床数と整合性のとれた形でなければならない。このため、<u>地域医療構想における推計年である令和7年(2025年)</u>及び経営強化プランの対象期間の最終年度<u>における当該公立病院の機能ごとの病床数や、病床機能の見直しを行う場合はその概要を記載する。</u>
- 既存施設の長寿命化等の対策を適切に講じた上で、なお新設・建替等が必要となる場合には、地域医療 構想等との整合性を図った当該公立病院の役割・機能や規模等を記載する。
- 国から、R5年度末までに、調整会議で協議を実施のうえ策定することが要請された。
- 本県では対象の全公立病院について、R5年度の調整会議で協議を実施済

## 公立病院経営強化プランの協議について(千葉)



- 県立病院では、令和3年度に「千葉県立病院改革プラン(令和3年度から令和6年度)」を策定し、経営改善に取り組んでおりましたが、策定後に総務省から公立病院経営強化ガイドラインが示されたことから、所要の改定を行い、令和5年度に公立病院経営強化プランの協議を実施しています。
- 本年度、令和7年度からの新たなプランを策定することとしているため、 現在策定を進めている「千葉県立病院経営強化プラン(案)」の下記病院 に関わる概要について説明のうえ、御意見を伺います。
  - ①千葉県がんセンター
  - ②千葉県総合救急災害医療センター
  - ③千葉県こども病院

#### 公立病院経営強化プラン(当該病院の果たすべき役割・機能等)の概要

施設名	千葉県がんセンター													
所在地	千葉市中央区仁戸名町666-2													
	一般病床 療養病床 精神病床 結核病床 感染症病床											±L		
許可病床数	 開設許可	— //3	450			相作的体		<b>柏</b>		<b>感染症病床</b>		·	†† 450	
(床)	使用許可	450											450	
	医用計判		430										430	
		高度:	急性期	急怕	生期	回復期		慢性期		休	東等	į	it .	
	R4.7.1時点 <sub>※1</sub>			355		53			(p4)=		42		450	
機能別病床数(床)	R7年	16			381		53					45		
	R_年見込み <sub>※2</sub>												0	
	※1 今和4年7月													
	※2 R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載。													
				心而答		精神						1		
		がん	脳卒中	心血管 疾患	糖尿病	疾患	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	その他	
	R4.7.1時点 <sub>※1</sub>	0									0			
	R7年	0									0			
2025年以降におい	R_年見込み <sub>※2</sub>													
て担う役割	その他の内訳	及び補力	足等	•							•	•		
	※1 <u>令和4年7月</u> ※2 R8年以降に					11.後の見	込みを証	一載						
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向けました。 果たすべき役割 ※経営強化プランの記載内容を記入	令和5年5月には 床数は446床とし、 急速な高胃がん、 がん患者に対野では、予 で調査に対野では、予 で調査に、団塊続い。 国最後によびで生っている。 最してい病院で生る。 見して入院で生る。 心して入院でナンシス 地域包括ケアシス	よ伴肝がいた けん 高送ない かん できん がきん から がと から かん	D増が開かる 増が開から 大型のそ生究 大型のそ生究 大型のそ生究 大型のそ生究 大型のそ生究 大型のそ生究 大型のそ生究 大型のそれカビ 大型のより 大型のなり 大型のな 大型のな 大型のな 大型のな 大型のな 大型のな 大型のな 大型のな 大型のな 大型の 大型の 大型の 大型の 大型の 大型の 大型の 大型の	でけれるががます。 は大人のがいません。 はないでは、 とないでは、 はないでは、 とないでもな。 とないでは、 とな。 とないでは、 とないでは、 とないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とな。 とな。 とな。 とな。 とな。 とな。 とな。 とな。 とな。 と	ことがでにくいました。ことができていました。 (作うない)には、 (作うない)にはい)には、 (作うない)には、 (作うない)にはい)には、 (作うない)には、 (作うない)にはい)にはいは、 (作うない)にはい)には、 (作うない)にはい)にはいい。 (作うない)にはい)には、 (作うない)にはい)にはいは、 (作うない)にはい)にはいは、 (作うない)にはいい)にはいはいは、 (作うない)にはいはいいはい)にはいは、 (作うない)にはいはいいはいはいはいはいいはいはいはいはいいはいはいはいはいはいはいはい	き付いない。ころは含まれては患る薬のでは患る薬のでは患る薬のでは患る薬のでは患る薬のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	を整えていが卵を変えていが卵を変えいが卵を変えられが卵を原体のでは、 できる からかい かい か	いまなので、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	提供している。 おいま は は は は は は ない は は は は ない	いきます。 にきます。 にきます。 にき続きへいるがらいるがん によるがん によるがん にはなりには にはての にはしての にとしての	特に、我に うととあれた うともやい でアリ、を は活 な療養を果か な療養を果か	が国に多かない。「標準アイン・「標準アイン・「表表のおります。」といる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	いがん等 治療療 疫 大きをを 大きをででする。 はいましてでする。 はいましてでする。 はいましてでする。 はいましてでする。 はいましてでする。 はいましてでする。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいましていましています。 はいます。 はいましています。 はいましています。 はいましています。 はいましています。 はいまする。 はいまる	
機能分化・連携強化の取組 ※経営強化プランの記載 内容を記入	がんセンターは、 した地域の医療機 さらに機能を担つ また、大学等と通門と研究部門と研究部門と研究部門が有 患者の心と体を 族を支える仕組み	関との連 診療連携 ていきまで 連携して、 機的な追 総合的に	携、診療 携拠点病院 す。 臨床試験 直携を図る 支援する	支援医師会等に対し・治験を通 ことで、ことの、地域	の派遣調 、情報提 配じた最先 れら医療機 ばの医療機	整、医療 供、症例 端医療の の研究・I	従事者の 相談や診 )提供や新 開発機能を	研修、相談療支援を 行しい治療 を一層強	淡支援、情 行うなど、 薬の開発 比します。	報提供等 都道府県 などに取	等の充実引 がん診療 り組む必	強化を図り 連携拠点 要があり、	Jます。 京病院と 、臨床部	
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標 ※経営強化ブランの記載内容を記入	別紙のとおり 県立病院は、県 インフォームド・コン また、地域住民を	ノセントの 対象とし	徹底、医	療従事者 座の開催	の育成な。 やホーム	ど、医療スページ等	k準の向」 を活用した	Lと患者・ た地域住	ナービスの 民への医	)一層の3 療情報の	主実を図り	ます。		
取組 ※経営強化プランの記載 内容を記入	安全に関し、県民	に積極的	な情報提	供を行い、	、医療の透	5明性を高	高め、信頼	(の確保に	:努めてい	きます。				

- 〇協議・合意済の「具体的対応方針」に変更がある場合は、別添様式2にも記載ください。
- 〇記載欄が不足する場合は、記載欄を拡大するか、必要に応じて別紙資料(任意)を添付ください。

## 【がんセンター】(千葉県立病院経営強化プラン案より抜粋)

## iii医療機能等指標に係る数値目標

テーマ		医療機能	指標・	具体的な取組		R7	R8	R9	R10
) — 4	中項目	1	小項目	1	単位	目標	目標	目標	目標
医療機能に係る			1	内視鏡下手術件数	件	950	970	985	1,000
			2	分子標的薬適応件数	件	1,900	1,940	1,970	2,000
	1	高度専門的な医療	3	主要医療機器の中長期的なROI	%	12.8	15.3	24.9	29.5
もの			4	IMRT施行症例数	件	7,000	7,000	7,000	7,000
			5	総手術件数	件	6,100	6,200	6,300	6,400
	2	治験の推進	6	年間治験実施件数	件	135	140	145	150
	3	がん登録の精度向上	7	DCO率の減少	%	1.48	1.48	1.48	1.48
医療の質に係る	4	在宅復帰に向けたサポート	8	在宅復帰率	%	98.9	98.9	98.9	98.9
もの	5	患者満足度の向上		患者満足度(入院)	点	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る
	5			患者満足度(外来)	点	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る
	5	加域医療連携パスの推進		地域医療連携パス種類数	種	31	31	31	31
連携の強化等に 係るもの	5	地域区原理捞ハ人の推進	12	地域医療連携パス適用数	件	1,140	1,180	1,240	1,280
	6	地域医療機関との連携強化	13	地域医療機関への訪問回数(診療科別)	件	85	85	90	90
	7	専門・認定看護師資格取得の促進	14	専門・認定看護師有資格者割合	%	5.6	5.6	5.5	5.5
	8	臨床研修医の確保・育成	15	臨床研修医の受入人数	人	13	13	13	13
その他			16	100床あたりIA総報告件数	件	925	950	975	1,000
	9	安全管理の徹底	17	100床あたりレベル3b以上発生件数	件	11	12	12.5	13
			18	医療安全文化調査偏差値	_	55.0	55.5	55.5	56.0

別添様式1

#### 公立病院経営強化プラン(当該病院の果たすべき役割・機能等)の概要

施設名	千葉県総合救急災害医療センター														
所在地	千葉市美浜区豊砂6-1														
771 12.50															
許可病床数 許可病床数	開設許可	一般病床	100	療養病床		精神	·病床 50	結核病床		感染症病床		計 150			
(床)			100				50						150		
	使用許可	100					50					130			
		高度急性類	朝	急	性期	回復期		慢性期		休棟等		į	it		
	R4.7.1時点 <sub>※1</sub>							(X1279)					0		
機能別病床数(床)	R7年	32		68								100			
IN HENT MIN SX (IN)	R_年見込み <sub>※2</sub>												0		
	- 1 - 1 - 1 - 1														
	次2 N0平以降10	が水が成化り元	,但U j <sup>*</sup>	/ JE /3 · 0/)	1の物口16·	、元巨し	<b>文</b> 07元上0	アで記載。	•						
		がん 脳2	卒中 '	心血管	糖尿病	精神	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	その他		
	D4745+ F	75.70 加四-		疾患	からルバル	疾患	72.10	<b>Д</b> Ε	内压剂	11.70	心木ル	11-6	(0)		
	R4.7.1時点 <sub>※1</sub>														
	R7年		)	0		0	0	0			0				
2025年以降におい	R_年見込み <sub>※2</sub> その他の内訳	乃7【補兄等							<u> </u>		<u> </u>				
て担う役割	C 07 (E 07 F 16)(.	<b>ХО-ТНІДЕ</b> <del>Т</del>													
	※1 <u>令和4年7月</u> ※2 R8年以降に	1日現在の担合				51 % A F	= 11 7. + =	7.44							
									- 関ウマラ	54+-+ 7 -	- 1.48-7.4	<b>*</b> :い言曲	市田がた		
	県立病院は、循 医療について全県	及び複数圏均	を対象	象とした											
	人材育成と情報提 総合救急災害医				療機関での	)対応が	困難な症	例や、受	ナ入れでき	ない場合	♪の受けⅢ	1として、1	各分野の		
地域医療構想等を	総合教急災害医療センターは、他の教急医療機関での対応が困難な症例や、受け入れできない場合の受け皿として、各分野の専門医が365日、24時間体制で、心筋梗塞、脳卒中、多発外傷等の重篤救急患者の治療にあたるとともに、高度救命救急センターとして広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊救急疾病患者の救命救急医療を担っていきます。														
踏まえた当該病院の思わずる	また、各二次保信	建医療圏におい	ハて、私	重々の要	要因により	対応が困	難となっ	ている救力	急患者のよ	収容を日	々調整∙補				
の果たすべき役割・  機能	必要があります。 適切な医療を提供	していきます。	•												
※経営強化プランの記	また、休日・夜間 応じ、迅速な診察														
載内容を記入	割を担うセンターと	して、急性期	患者の	24時間	引体制での	受け入れ	1機能とと								
	さらに、基幹災害	精神科教急情報センター(医療相談窓口)機能を担っていきます。 さらに、基幹災害拠点病院として、高度教命教急医療及び精神科教急の機能を最大限活用するとともに、DMAT、DPATを同一 病院内で運用できる機能を活かして身体・精神両面にわたる包括的な災害医療を提供していきます。													
	病院内で運用でき	る機能を活か	して身	体•精剂	申両面にれ	たる包括	舌的な災害	医療を抗	是供してい	きます。					
地域包括ケアシステムの構築に向けて	国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人 生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を 目指しています。														
果たすべき役割	1.110となり。 県立病院では、高齢化が進展している香取地域にある佐原病院が在宅療養支援病院の指定を受けており、住み慣れた地域で 安心して療養生活が送れるよう、地域包括ケア病棟、訪問診療・訪問看護と連携を取り、緊急時には在宅療養を行っている患者														
ツタヴみルプニンの記	が直ちに入院でき	るような体制を	を整備し	し、急性	期医療だ										
※経営強化プランの記載内容を記入	で、地域包括ケア	システムの構造	染に奇	与してし	ハます。										
	救急患者の搬送	をスムーズに	行うた	めの情	報ネットワ	一クを三	次救急医	療機関や	一部の二	次救急图	を 療機関と	消防機関	を含め		
	た形で構築・管理	することで、緊	急に専	門的な	対処が必	要な病態	に関する	応需情報	などを関						
機能分化•連携強化	応じて、身体・精神合併教急患者等の三次教急間の受入に係るコーディネートを行います。 また、全県域を対象に、大学病院や他の教命教急センター等と連携して、県立病院の持つ高度な救命教急医療技術に係る研修 の実施等による支援を行います。														
の取組	の実施等による文 一般診療科では			神科合	併救急患	者につい	て、迅速が	いつ適切	な 医療を	と提供して	いくほか、	.身体•精	神科合		
※経営強化プランの記	併救急医療の全界 また、精神に障害					なげるた	-め. 総合	救急災害	医療セン	ターと同-	-施設内(	こ設置され	こている		
載内容を記入	精神保健福祉セン他の医療機関や	ター(県こころ	センタ	一)と連	携を図り、	隙間のな	い精神の	<b>保健福祉</b>	サービスを	提供して	いきます。	•			
	医療センターとして					と古りのか	<b>よりり テ</b> ロ	・寺の人口	り火音のま	5土吋1〜8	30,640	未の中心	的火音		
	別紙のとおり														
医療機能や医療の	グリルルマン C 83 ウ														
質、連携の強化等 に係る数値目標															
にほる数に口信															
※経営強化プランの記載内容を記入															
		D 70. 420 0. 1 5 7		- FF		· ~ = = ·	#	÷	+ tp w ! :	74.4 -	· · · · · ·	. # > 1	目信先力・・		
	県立病院は、県 インフォームド・コン	ンセントの徹底	、医療	従事者	の育成な	ど、医療:	水準の向	上と患者	サービスの	の一層の	充実を図り	Jます。			
住民理解のための 取組	また、地域住民で 安全に関し、県民	を対象とした公	開講區	室の開催	単やホーム	ページ等	を活用し	た地域住	民への医	療情報σ			ともに、医療		
	スエト因し、水八	- IX IZ H J'の 旧	TAJÆ	(E110.	、 <u>□</u> □ //( ∪ / / /	テクコロエの日	-, -, -, 1口 杉	~~ »E I/^ I	->,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ 570					
※経営強化プランの記載内容を記入															

- 〇協議・合意済の「具体的対応方針」に変更がある場合は、別添様式2にも記載ください。
- 〇記載欄が不足する場合は、記載欄を拡大するか、必要に応じて別紙資料(任意)を添付ください。

## 【総合救急災害医療センター】(千葉県立病院経営強化プラン案より抜粋)

## iii医療機能等指標に係る数値目標

_		医療機能指	標・馬			R7	R8	R9	R10
テーマ	中項目	1	小項目	1	単位	目標	目標	目標	目標
	1	救急患者受入件数の増加	1	救急搬送患者受入数	人	2,550	2,600	2,600	2,600
	2	心肺停止で救急搬入された患者数	2	心肺停止で救急搬入された患者数	人	240	240	250	250
				急性心筋梗塞	件	160	160	170	170
	3	重症患者の受入 (受入当日の緊急手術件数)	4	脳梗塞急性期	件	140	150	150	160
			5	重症外傷	件	250	250	250	250
				総手術件数	件	1,550	1,600	1,650	1,700
医療機能に係る	4	精神疾患・認知症患者の身体的救急へ	7	精神科リエゾン活動件数	件	600	600	600	600
もの		の対応	8	認知症ケア活動件数	件	5	5	5	5
			9	電話相談件数	件	18,000	18,000	18,000	18,000
	5	精神科救急機能	10	救急患者受入数	人	550	550	550	550
_			11	入院患者急性期比率	%	85.0	85.0	85.0	85.0
	6	心理教育の推進	12	心理教育の参加者数	人	510	510	520	520
	7	アウトリーチの推進	13	患者訪問件数	件	1,000	1,000	1,000	1,000
	8	災害対策の強化	14	災害研修派遣人数	人	5	5	5	5
	9	9 心肺停止で救急搬入された患者の救命率		心肺停止で救急搬入された患者数患者	人	36	36	38	40
医床の筋に 2.7				の生存退院患者数・割合		15.0	15.0	15.2	16.0
医療の質に係る もの	10	クリティカルパスの推進	16	クリティカルパス算定数	件	300	300	300	300
	11	患者満足度の向上		患者満足度(入院)	点	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る
		TO A MARIE A TITLE	18	患者満足度(外来)	点	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る
	12	地域医療連携パス(脳卒中)の推進	19	地域医療連携パス適用数	件	115	120	125	130
連携の強化等に	13	地域完結型医療の達成	20	在宅復帰率	%	82.0	83.0	84.0	85.0
係るもの	14	精神科救急情報センター機能	21	新規電話相談件数	件	7,000	7,000	7,000	7,000
	15	地域医療機関との協議の推進	22	関連会議開催件数	件	60	60	60	60
	16	専門・認定看護師資格取得の促進	23	資格者の割合	%	5.5	5.5	5.5	5.5
		サリ		専門・認定看護師有資格者割合	%	5.5	5.5	5.5	5.5
	17	臨床研修医の確保	25	臨床研修医	人	20	20	20	20
		HARLING IN DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE	26	後期臨床研修医(救急科)	人	6	6	6	6
その他	18	災害拠点病院としての体制強化	27	DMAT登録隊員数	人	33	34	35	36
			28	災害対策訓練等実施回数	件	5	5	5	5
	19	安全管理の徹底	29	IA総報告件数	件	2,500	2,500	2,500	2,500
		30 レベル3b以上発生件数		レベル3b以上発生件数	件	10	10	10	10
	20	精神科専門医の指導医の確保	31	指導医数	人	6	6	6	6

#### 公立病院経営強化プラン(当該病院の果たすべき役割・機能等)の概要

施設名	千葉県こども病院																							
所在地	千葉市緑区辺田町579-1																							
		— <b>á</b> t	没病床		病床	<b>特</b> 油	病床	結材	病床	成处。	<b>立病床</b>	1	<u>;</u>											
許可病床数		218		7从及	271/31/11	TF11	7/19/18	441×141		心未证内体			218											
(床)	使用許可		218										218											
	#41.021. T																							
		高度:	急性期	急性期		回復期		慢性期		休棟等		i	计											
機能別病床数(床)	R4.7.1時点 <sub>※1</sub>	33		171						14			218											
	R7年		33		185						0	218												
	R_年見込み <sub>※2</sub>												0											
	※1 <u>令和4年7月1日現在</u> の機能別病床数を記載。 ※2 R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載。																							
		がん	脳卒中	心血管	糖尿病	精神	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	その他											
	R4.7.1時点 <sub>※1</sub>	0		疾患		<u>疾患</u> 〇						0												
	R7年	0		0	0	0	0		0	0	0	0												
	R_年見込み <sub>※2</sub>					)				)			+											
2025年以降におい て担う役割	その他の内訳	L 及び補り	<u>             </u> 足等										1											
(1_)(1)																								
				いる役割を	記載。			- +1			※1 令和4年7月1日現在の担っている役割を記載。													
		(犯事) (不) 日	ましてウ	エミナ・フ 1日	A/4 B	<b>生」 然                                   </b>																		
	※2 R8年以降に										-1 (8 -1		<del></del>											
地域医療構想等を	※2 R8年以降に 県立病院は、循: な医療について全	環型地域	医療連携	システム	を補完・拡	充する機	能、すな	わち、医!																
地域医療構想等を踏まえた当該病院	県立病院は、循語 な医療について全 の人材育成と情報	環型地域 県及び複 提供機能	医療連携 复数圏域を 能を担って	システム 対象とし いきます	を補完・拡 た医療機 。	充する機 能を担っ	能、すなだ ていくことを	わち、医! を基本とし	<i>、</i> ます。ま <i>†</i>	た、県全体	本の医療の	の質の向	上のため											
踏まえた当該病院 の果たすべき役割・	県立病院は、循 な医療について全 の人材育成と情報 こども病院は、県 した重篤な外科的	環型地域 県及び を提供機能 以内の小り 疾患の患	医療連携 复数圏域を 能を担って 見医療の抽 見者に対し	システム 対象とし いきます 処点として て、高度	を補完・拡た医療機 た医療機 。 、一般の 専門的な	流する機能を担っ 医療機関 医療、総合	能、すなだ ていくことで では対応 合的な医療	わち、医! を基本とし が困難な ほを提供し	ノます。また 難病や重 ノていきま	た、県全体 症の患者 す。	本の医療の が、先天性	の質の向. 心疾患を	上のため											
の果たすべき役割・ 機能	県立病院は、循注な医療について全の人材育成と情報ことも実施には、領立とも実施のは、 こども無な外科的 た天性疾患児の の不安等を考慮す	環型地域 県及び複 提供機能 人内の小り 疾患のたい か治を、出	医療連携を製造をを受けるできます。	システム・対象としいきますで、高度によっての段を後の一	を補完・拡た医療機で、一般ので、一般のではいるので、	充する機能を担っ 医療機関 医療、出済 医療、出済 と、出資	能、すなさいくことでは対応 では対応 音的な医療 産病院から 理、分娩	わち、医乳を基本といが困難ない。 おりまる では おりまる できる できる かいまい はい	ノます。また 難病や重 ノていきま こよるリス 後からの	た、県全体 症の患者 す。 ク、搬送り 新生児治	本の医療の ・ 先天性 こ伴う母子 療を可能	の質の向. 心疾患を 子分離に。	上のため はじめと よる母親											
踏まえた当該病院 の果たすべき役割・ 機能 ※経営強化プランの記	県立病院は、循注な医療について全の人材育成と情報ことでも病院は、県した重篤な外科的 先天性疾患児の	環型地域 県及び複 提供機能 人内の小り 疾患のたい か治を、出	医療連携を製造をを受けるできます。	システム・対象としいきますで、高度によっての段を後の一	を補完・拡た医療機で、一般ので、一般のではいるので、	充する機能を担っ 医療機関 医療、出済 医療、出済 と、出資	能、すなさいくことでは対応 では対応 音的な医療 産病院から 理、分娩	わち、医乳を基本といが困難ない。 おりまる では おりまる できる できる かいまい はい	ノます。また 難病や重 ノていきま こよるリス 後からの	た、県全体 症の患者 す。 ク、搬送り 新生児治	本の医療の ・ 先天性 こ伴う母子 療を可能	の質の向. 心疾患を 子分離に。	上のため はじめと よる母親											
踏まえた当該病院 の果たすべき役割・ 機能	県立病院は、循注な医療について情報について情報について情報に対して情報に対した重篤な外科的 先天性疾患児のの不安等を考慮すた周産期医療との	環型地域環境機構製力の表別を表現のでは、12年のでは、12	医療連携 复数圏域を 能を担って 見るに対し 見るには、 い生前、出生 は展開が必	システム 対象としいきます い点として、高度 で、高の段 上後の一 ら要とされ	を補完・拡た医療機の、一般の、専門的な同性ののでは、	流する機能を担って 医療、機関を 医療、出情を という。 という。	能能、すなっていくことでは対応 では対応医療 合的な医療 産病院から 理、分娩い ども病院に	わち、医療を基本としが困難ないを提供して原を提供していてにいてにいています。	ンます。また 難病や重い こよるリスこよからの! 現産期医療	た、県全体 症の患者 す。 ク、搬送し 新生児治 ほこ取り系	本の医療の 香、先天性 に伴う母子 療を可能 組みます。	D質の向. 心疾患を 一分離に。 とする産	上のため はじめと はる母親 科を交え											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入	県立病院は、循注な医療について情報について情報について情報に対した事には、原した重篤な外科内の大天文等を考慮のの不安期医療とのの不安期医療とのも、団塊の世生の最後まで続け	環型地域機能 県内ののの は大きな では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	医療連携を接触する。 是要とは一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	システム 対象としいきます 処点と高度 による高度 は後の一 が要とされる この25	を補完・拡 た医療機 。 、一般の 専門的な 調した胎児 でいること	充する機能を担して を療験には、 を療が、は、 を持た。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	能能、すなっていくことでは対医療に対な医療が発達している。 ではないのでは対応のでは対な医療が発達している。 では対な医療が発達している。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では対象を表する。 では、対象を表する。 では、対象を表する。 では、対象を表する。 では、対象を表する。 では、対象を表する。 では、対象を表する。 では、対象を表する。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	わち、医療を基本としが困難ない。 (出まれる) はまれる (出まれる) はまれて (において 原	ます。また 難病やきによいましてよからの。 別産期医療 でも住みしても	こ、県全体 症の患者 す。 かり、搬送り が生取り に取りが 慣れた地	本の医療の 香、先 大性 に伴う可可能 はので自分	D質の向 心疾患を そ分離に。 とする産 らしい暮	上のため はじめと よる母親 科を交え ししを人											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向けて	県立病院は、循注な医療について情報であり、人材育成と情報では、原した重篤な外科的先天性疾患児のの不安等を考慮すた周産期医療との国は、団塊の世の場合を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	環県投供機小県で出て、 環県は大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	医療圏域って対した 医療圏域って対した 生原 とり 生原 関連 はの で 対 に 出 らい 生 に 関 が い と よ うい と と よ うい きょ と と よ うい きょ と と よ うい きょう と と よう と な うりゅう と と よう と かり きょう と い さい と い と い と い と い と い と い と い と い	システムとけいきますしていきまして、いきまして、明のとして、児ののでは、児ののでは、児ののでは、そのとされる2025、人はまい、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	を補完・拡た医療機の中間のでは、一般の時間のでは、一般の時間では、一般の時間では、一般のでは	・充する機 ・充す担 ・医療、体 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大	能能、すななでは対 対 で が 対 医が が 対 医が が 発 が 発 が 発 が 発 が 発 が 発 が 発 が 表 が 表 が	わち、医とし が歴を基本が歴史は が歴をの出生いで において において が たがしたない が たが たが たが たが たが たが たが たが たが たが たが たが た	ます。また 難病によるいるいのでは、 はないないのでは、 はないないでは、 はないでは、 とはないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。	た、県全体 症、の患者 ク、搬児り が生取り た地域 た地域	本の医療の ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	D質の向心疾患を 心疾患を こ分離に。 とする産 らしい暮ら	上のためとはじめとはる母親はを交えるしを集るの構築を											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステ	県立病院は、征達なの人ども無いでは、で情報。これで情報。これでは、で情報。これでは、では、なども無なな思されて、とないでは、外別ののでは、外別のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので	環型型地域を 環型及供の 提提の 大きで では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	医療圏域つの対象を表現して、   を表現して、   を表現して、   の対象を表現して、   の対象を表現して、   の対象を表現して、   の対象を表現して、   のが、	システムしかい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっ	をた。、、専門階」に、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	充を療験のは、 こ、 で に 医医対・・ か こ、 で で に 医医対・・ か こ で で に に を に の に の に の に の に の に の に の に の に	を 能い、 すなと はななに いて はなな に が か が た 大 大 た て た た た た た た た た た た た た た た た	わち、本 難なによい ない をといる をといる をといる をはれる をはれる はい ない はい ない それ 援を はない ほう ない ほう はい はい はい はい しょう はい	よ 難病 ちょう できない まます。 やまま スの できない あいらの 医の おいました は 見い の 緊の かいさい はい	<ul><li>た、症すクが脈に 慣れ 定時中、症すり、性取 れる をにい かん をにい た地 はけれる では けれる では けれる から から</li></ul>	<b>本の た に から から た に から た の た から </b>	D質の向 心疾患を ・分離に。 とする産 ・ らしステム ・ お行ってい	上のためとはじめとはる母を交 人を でも 域者											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 ※経営強化プランの記	県立病院は、循注なの人ども病院でいた情報。 ことでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	環果投換疾治る一 代る 高がるような がっと かいる かいまかい かいしゅう はいいしゅう はいいしゅう はいいしゅう はいしゅう はい	医療圏域つの対し、出外の としました という	システとしすて胎生後とったい。いまれた性は多のできました。このでは、いまれた。このでは、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれたが、いまれた。このでは、いまれた。このでは、いまれた。このでは、いまれた。このでは、いまれたは、これには、いまれたは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	をた。、、専階間して年を地域に、東階間したる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	充を療験のは、 こ、 で に 医医対・・ か こ、 で で に 医医対・・ か こ で で に に を に の に の に の に の に の に の に の に の に	を 能い、 すなと はななに いて はなな に が か が た 大 大 た て た た た た た た た た た た た た た た た	わち、本 難なによい ない をといる をといる をといる をはれる をはれる はい ない はい ない それ 援を はない ほう ない ほう はい はい はい はい しょう はい	よ 難病 ちょう できない まます。 やまま スの できない あいらの 医の おいました は 見い の 緊の かいさい はい	<ul><li>た、症すクが脈に 慣れ 定時中、症すり、性取 れる をにい かん をにい た地 はけれる では けれる では けれる から から</li></ul>	<b>本の た に から から た に から た の た から </b>	D質の向 心疾患を ・分離に。 とする産 ・ らしステム ・ お行ってい	上のためとはじめとはる母を交 人を でも 域者											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	県では、、循注なの人とは、、循注なの人とは、、循注なの人とも無くを明した。 大天安期 した天安 地域を表表を といる は、後いには、 は、 は、 は、 で、 は、 は、 で、 は、 は、 で、 は、	環果投換疾治る一 代る 高がるような がっと かいる かいまかい かいしゅう はいいしゅう はいいしゅう はいいしゅう はいしゅう はい	医療圏域つの対し、出外の としました という	システとしすて胎生後とったい。いまれた性は多のできました。このでは、いまれた。このでは、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれた性は、いまれたが、いまれた。このでは、いまれた。このでは、いまれた。このでは、いまれた。このでは、いまれたは、これには、いまれたは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	をた。、、専階間して年を地域に、東階間したる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	充を療験のは、 こ、 佐間 大き を 療験のは、 こ、 を 佐間 機能出管こ たい 実診 病療・ 原診療療・	を 能い、 すなと はななに いて はなな に が か が た 大 大 た て た た た た た た た た た た た た た た た	わち、本 難なによい ない をといる をといる をといる をはれる をはれる はい ない はい ない それ 援を はない ほう ない ほう はい はい はい はい しょう はい	よ 難病 ちょう できない まます。 やまま スの できない あいらの 医の おいました は 見い の 緊の かいさい はい	<ul><li>た、症すクが脈に 慣れ 定時中、症すり、性取 れる をにい かん をにい た地 はけれる では けれる では けれる から から</li></ul>	<b>本の た に から から た に から た の た から </b>	D質の向 心疾患を ・分離に。 とする産 ・ らしステム ・ お行ってい	上のためとはじめとはる母を交 人を でも 域者											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 ※経営強化プランの記	県医人とは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	環県提内疾治る一代る 高がるシー般のに出た がこ 齢送うス ののに出た がる かんなん ほれがなん ほれがなん ほれがなん ほれがなん しれがない しゃく かんしゃく しょうしゃく しょうしゃく かんしゃく しょうしゃく しょう しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょう しょう しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょう しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょう しょう しょうしゃく しょうしゃく しょう しょうしゃく しょう しょうしゃく しゃくりん しょうしゃく しゃくりん しょくりん しょう しょうしゃく しょうしゃく しゃくりん しゅく しょう しゃく	医類目 はいい という はいかい という にいまして という はいかい という はいかい という という という という という という という という はいかい という はい	システとすて胎性を要しています。 いましましまののとさい いましましまののとさい なっていました かっていました がまれば 取り下性に 取りてきています。	をた。、・専階間で 年医 地方開発 しいなのいりと は は 東京 は は 東京 は は 東京 に 東京 に 東京 に 東京 高 高 が また。 度 東京 は からがられる は からがらいる は は からがらいる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	充を 医医対・か こ、 後間け 関終 出管 に 大き 原療 に、 体 の 重 予 原 療 は し で、	を 能い、 すると はなに に いて はなに に 分 が た う 大 ま た に う 大 ま た に う た う た う た も た り た り た り た り た り た り た り た し 、 を き き き き を き き を き き き を き き き き き き	かち、本 難な供送。 がまた と は がまた がまた がまた がまた がまた がまた がまた がまた は と 体 接を きまた と は 接を きまた と は 接を きまた と は が ない ないが ない は を と き を きまた と は と は と は と は と ないが ない と は と は と は と は と は と は と は と は と は と	よ 難ないるかり でに 病取り でに 病取り でに 大きりの でいるかり は 一でに 病取り では 特別の の 新生り がられる から から がられる から	こ、症すク新駅 (慣れ 定時病 原県 の。 搬児り ため をに院 をにに ため をにに まき 送治刹 地域 けなし やっ	本 が 、 に療 を を を を を を を を を を を を を	D質の向。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上のためとはじ、母を交 人等で者こと 一治療を											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 ※経営強化プランの記載内容を記入	県 な の は 、	環県提供疾治る一代る 高がよう 一般ならいのに出めた がこ 齢送う アと 化る 大きの小必要に がった がんなん 医児児のの必要に かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん	医数を	シ対きには、   ・    ・    ・    ・    ・    ・    ・	をた。、・専階貫で 年医 地方期は 難心療 一般的ら胎に を療 に棟 療す 高な制・ 直水 の します このは できます このは できます こうしょう かいます しょう かいます しょう かいます しょう かいます しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょう しょうしょう しょう	充能 医医材 こ	をはいている。 はないでは、 はなに、 なるに、 なる。 なるに、 なる。 なる。 なる。 なる。 な。 な。 なる。 な。 なる。 なる	わち がをの出お 態が 療と達 からにす なは、 な 世紀 と は を で を で で で で で で で で で で で で で で で で	よ 難て、こ後月 で、 病取域 重変をす 病いるか期 住提 院り、の 新をってまりら医 住供 の緊中 生担し かまりの かまりの ませい かい	<ul><li>た、症すク新駅に 慣れ 定時病 記ときま 送沿り 地域 けなし やに。</li></ul>	本の たい は で は で は で で で で で で で で で で で で で で	D質の向いでは、 からない からない からい かっと からい かっと	上のは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 ※経営強化プランの記載内容を記入	県医人ど電子である。 県医人ど重性疾を関 した天安期 した天安期 した天で度は、最近には外見ののである。 をいたますを、 は後いにする。 は後にいたする。 はなしたで、 はないには対してにはは、 をいにするで、 はないには対してにはは、 をいにするで、 にどもおいて、 にとは、 にとは、 にいしまする。 にいしまする。 にいしまする。 にいきないで、 にいるいで、 にいる	環県提供疾治る一代る 高がるシー般なら児の上級は、大きなのに出め、 ちがいるシー般なら児の小めののがあるシーの小めののがあるシーのがある。 おいまれる はいまれる はいまれる いっぱ を はいまれる いっぱ を はいまた しょう はいまた しょう はいまた しょう はいしょう はいい はい	医数色性 しょう しょう ではん 原料に宅を という はいか とよ ていをに 関かいた 医の しょう を 関かいた とよ ていを でり、 は がっている しょん という しょく	シ対い処で胎生を る、 ハ或間寄 オー次成の ない は、 いずには、 いずに、 は、 のも、 のも、 のも、 のも、 のかり、 のかり、 のかり、 のかり、 のかり、 のかり、 のかり、 のかり	をた。、・専階員で 年医 地戸期は ない森べ に 一門かたる 目療 に棟 寝す 高な制度 であな しまる かん あいまる しょう かん あいまる しょう かん あいまる しょう かん あいまる しょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょう	充能 医医材子 こ後 佐間け 厚在補程を 療療応母ら 重予 原診で 的し完度 かした 東京 原家は でていが 病療な でていが	と 応援が免除し、 と 一般を では、	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。 を	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアウは割では関すべきである。 ・・連携強化の記載内容を記入 機能分化・連携強化のの記載内容を記入 機能分化・連携強化のの記載とのの記載を記入	県医人とは 本語 は、 で 情報 に なの た に なの た に な の た に 大 不 所 に な の た に 大 不 所 に な に 大 不 所 に な に 大 不 所 に な に 大 不 所 に な に 大 不 所 に な に な い に な が で 、 に そ で な に な に な に な に な に な に な に な に な に な	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児の地が機小見で、	医数色性 という という という という こうしょ という はいか という はいか という という という という こう	シオい処で、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 でいった。 でいった。 でいった。 のので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	をた。、・専階貫で 年医 地戸期ま 雄心療べい・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充能 医医材理 こ、 こ、 で、 は間け	と は で は なと なと なと なと ない で は ない で は ない	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。を 分する は に な かけん かけん かけん かけん かん	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアシステムの構築に向くをですが、できるといる。 地域を対して、関係できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	県医人とは、 (本学 報報) のよいとは、 (本学 報報) のよいとは、 (本学 報報) のまた (大天 本) で、 (大天 本) で、 (大天 本) で、 (大子 大) で、 (大子 大	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児の地が機小見で、	医数色性 という という という という こうしょ という はいか という はいか という という という という こう	シオい処で、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 でいった。 でいった。 でいった。 のので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	をた。、・専階貫で 年医 地戸期ま 雄心療べい・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充能 医医材理 こ、 こ、 で、 は間け	と は で は なと なと なと なと ない で は ない で は ない	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。を 分する は に な かけん かけん かけん かけん かん	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえた当該病院の果たすべき後割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括ケアウけ割 ・ は、	県医人とは、 (本学 報報) のよいとは、 (本学 報報) のよいとは、 (本学 報報) のまた (大天 本) で、 (大天 本) で、 (大天 本) で、 (大子 大) で、 (大子 大	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児の地が機小見で、	医数色性 という という という という こうしょ という はいか という はいか という という という という こう	シオい処で、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 でいった。 でいった。 でいった。 のので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	をた。、・専階貫で 年医 地戸期ま 雄心療べい・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充能 医医材理 こ、 こ、 で、 は間け	と は で は なと なと なと なと ない で は ない で は ない	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。を 分する は に な かけん かけん かけん かけん かん	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域包括年かでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	県医人とは東京の 世代 は、で情、的のすの とは 科児 虚と 人と重天安	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児の地が機小見で、	医数色性 という という という という こうしょ という はいか という はいか という という という という こう	シオい処で、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 でいった。 でいった。 でいった。 のので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	をた。、・専階貫で 年医 地戸期ま 雄心療べい・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充能 医医材理 こ、 こ、 で、 は間け	と は で は なと なと なと なと ない で は ない で は ない	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。を 分する は に な かけん かけん かけん かけん かん	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域構では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	県医人とは東京の 世代 は、で情、的のすの とは 科児 虚と 人と重天安	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児の地が機小見で、	医数色性 という という という という こうしょ という はいか という はいか という という という という こう	シオい処で、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 でいった。 でいった。 でいった。 のので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	をた。、・専階貫で 年医 地戸期ま 雄心療べい・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充能 医医材理 こ、 こ、 で、 は間け	と は で は なと なと なと なと ない で は ない で は ない	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。を 分する は に な かけん かけん かけん かけん かん	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえた当該病院の果たすべきという。 の果たすべきとは、 を関係を記えない。 地域では、 が取りますが、 が取りますが、 が取りますが、 が取りますが、 が取りますが、 が取りますが、 のでは	県医人とは東京の 世代 は、で情、的のすの とは 科児 虚と 人と重天安	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児の地が機小見で、	医数色性 という という という という こうしょ という はいか という という という という という という こう	シオい処で、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 でいった。 でいった。 でいった。 のので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	をた。、・専階貫で 年医 地戸期ま 雄心療べい・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充能 医医材理 こ、 こ、 で、 は間け	と は で は なと なと なと なと ない で は ない で は ない	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。を 分する は に な かけん かけん かけん かけん かん	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を記入 地域では、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	県医人とは東京の 世代 は、で情、的のすの とは 科児 虚と 人と重天安	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児の地が機小見で、	医数色性 という という という という こうしょ という はいか という という という という という という こう	シオい処で、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 かいので、 でいった。 でいった。 でいった。 のので、 でいった。 でいった。 でいった。 でいるで、	をた。、・専階貫で 年医 地戸期ま 雄心療べい・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充能 医医材理 こ、 こ、 で、 は間け	と は で は なと なと なと なと ない で は ない で は ない	わち がをの出お 態が 療と達を 高次ら出お 態が 療と連を いった 養地担 い救機療師 接近り な体 接後り 各急能的 ほうかい しょう はいかい ほうかい しょう はいかい しょう はい しょう はいかい しょう はい しょう はい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はいかい しょう はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい	よ 難てこ後残産 でに 病取り域 重要を管理する おいまいきょう もまた にっこん かり おいま では、の かまれる から おいま から は から から おいま から は から	た、 症すク新駅	本 が、 に療型 は で で で で で で で を ま で で ま で で ま で で ま で ま	D質の向。を 分する は に な かけん かけん かけん かけん かん	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえたすべます。 の果たすべきを記入 地域の構す、というとの記載を表します。 を記入 ケアに役 シシウ に で 20 を記入 ケアに役 アシウ に 20 で 20	県医人と重天安産 は最近の大きに、で情、のでは、なのでは、ないでは、本年のでは、ないでは、本年のでは、本	環県提内疾治る一 代る 高がるシー・砂かいまど地び機小見たのに出か 「おびようテーの小必のく、児は、 おいまが、 がいるい 医児 要在一名	医数形性 人名 大学 という という はいます という はいます という という はいます という という できます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はい	<ul><li>シ対い処て胎生を</li><li>ス象きよ、高のさ</li><li>スをまと、高のさ</li><li>のま</li><li>香括急し</li><li>がの急にはる</li><li>なりますで</li><li>かの急にはる</li><li>をする</li><li>がの急にはる</li><li>をする</li><li>をする</li><li>をする</li><li>のま</li><li>を指急し</li><li>がの急にはる</li><li>をする</li><li>のま</li><li>を打った</li><li>のま</li><li>を対して</li><li>の力</li><li>のま</li><li>のさ</li><li>のま</li><li>のさ</li><li>のま</li><li>のさ</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま</li><li>のま<td>をた。、・専階貫で 年を 世ア期は 推心療べし援補医 一門かたい を療 に棟廃す 高な制管いを ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>充能 医医材でか こ後 佐間け 『早在補程現してすり 療療応母ら 重予 原診で 門と完度状いもつ 関発出管こ た 原家は でていがぎき</td><td>能じ、では有差理と すこ、対な院分病 すこ、対な院分病 うち、在看宅 見体ア高す。 など、応援が娩に 接援・宅護療 でのブ度す。</td><td>わらいである。 大がいないである。 大本のである。 大本のである。 大本のである。 である。 大本のである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのでなのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのでな。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのでる。 大をのでな。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでな。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでな。 大をのでな。 大をのでな。 大をのでな。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。</td><td>January Temporary Tempor</td><td>た、症すク新駅</td><td>本 5、 c 療A 域包 てEでて 重各 ととケート で</td><td>D 心 イン いっと いっと いっと いっと しい かい で はい で はい で はい で はい で はい で で いっと しい ない しょう はい で で いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと</td><td>上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は</td></li></ul>	をた。、・専階貫で 年を 世ア期は 推心療べし援補医 一門かたい を療 に棟廃す 高な制管いを ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	充能 医医材でか こ後 佐間け 『早在補程現してすり 療療応母ら 重予 原診で 門と完度状いもつ 関発出管こ た 原家は でていがぎき	能じ、では有差理と すこ、対な院分病 すこ、対な院分病 うち、在看宅 見体ア高す。 など、応援が娩に 接援・宅護療 でのブ度す。	わらいである。 大がいないである。 大本のである。 大本のである。 大本のである。 である。 大本のである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのでなのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのでな。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのである。 大をのでる。 大をのでな。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでな。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでな。 大をのでな。 大をのでな。 大をのでな。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。 大をのでなる。	January Temporary Tempor	た、症すク新駅	本 5、 c 療A 域包 てEでて 重各 ととケート で	D 心 イン いっと いっと いっと いっと しい かい で はい で はい で はい で はい で はい で で いっと しい ない しょう はい で で いっと	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえたすべまない。 おおおお は は は は は は ない と ない と	県医人と重素原的のすのため、	環果提内疾治る一 代る 高がるシ 般なら児高が 地のに出た	医数形足者い生属 以で 進よ本の 原料に宅方宅 域徹 とよ て地整に ダウン・療性療 関連域つの対は出が とよ て地整に ダウン・療性療療 という では、 でいる はいかん という でいました でいました ない はんしょう しょう しょう はんしょう しょく はん はんしょう しょく はん はんしょう しょく はんしょう しょく はんしょう しょく	<ul><li>シ対い処で胎性後要</li><li>るい、いず講告</li><li>対一次成資対</li><li>大の大力を上に見のと</li><li>20ま 香括急し がク救人源す</li><li>で事まと高のさ</li><li>ですがり入りますし度段一れ</li><li>ですりますした</li><li>ですりますした</li><li>ですりますした</li><li>ですりますした</li><li>ですりますした</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります</li><li>ですります&lt;</li></ul>	をた。、・専階間で 年医 地界期ま ない療べし援 での ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	充能 医医材でか こ、後 佐間け 『早在補程現し かど、すす担 機然出体。 重予 原診は 的し完度状い 患医 のといががき という おおき おり	機に、では角産理と、マ生、完訪く、難を少くります。 できん 変生、 が間在 類ないでは、 対な院分病 護女 宅看宅 易体ア高ま。 と なりのの 護援 宅護療 の のつまさ できます できます できます できます かいかい かんしょう かいかい かん できます かいかい かんしょう かいかい かんしょう かいかい かんしょう かいかい かんしょう かいかい かんしょう かいかい かんしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	わを がをの出お 態が 養と養 高とす医の こと 大郎 を 大水 を	よ難てよりでに後別でに表別であります表別であります表別でありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまでありますまた<	た、症すク新化 慣れ 定時病 現ときでう あったれる をに院 患とまあ療 め層を 患 送治刹 地域 けむし やにする的	本 が、 に療み 域包 でEでで 重な ととケア とか で括 お療役 小圏 にへ のを 変を とり のをを 日 の の の とり の とり で は か り い	D 心 かく しらシ み行を 実お 農サポート という はってた いった いった いった いった いった いった いった いった いった いっ	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえたすべまでは、	県医人と重大の 世代 は、て情、的のすの 世代 は、で情、対・生 に は の た と に 大 不	環県提内疾治の一(代る)高がるシート的いいまど フタス はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん	医腹形見の生民 しで 進ら本の 原料に宅方を 壊骸を医者いす しょう ほよ制構 関ッじ族社会 はいかい とよ て地をに 関ッじ族社族 民、開 しる し、を築 関ッじ族社族 民、開 は で しょく て は で で に し に と に に ま で に に ま に ま	シ対い風で胎生やるく入のとしまで表と、「など」を表と、「など」を表と、「など」を表と、「など」を表している。です人の です。 できいます できい ない ない はい ない ない はい ない はい ない はい ない はい ない はい	をた。、・専階買て 年医 地方期れ 推心療べし援 でのいた を療 般的らたる 目療 に棟医す 高な制害いを充実療 般的の胎に 途介 あ、膝。 度な制害いを充 全成一 が機 のなの 別と (資本) あまだ 厚字をのい実	充能 医医対す・か こ後 佐問け   厚在補程現し	にないでいる。 能にいいはい病は、ものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	や が	<ul><li>ま 難てよ後雨 てに 病取域 重医を算す</li><li>を 持ている か期 も提 院、の 新をつが旅 供ビへ は は の いま で まている から は は は の いま で まている から は られる は は いる は いる から は られる は いる から は いる は いる から は いる は いる から は いる は いる いる いる は いる いる いる は いる いる</li></ul>	た、症すク新原に 慣れ 定時病 現ときぞう の 搬生取 れる をに院 患もまあ療 たー情報 送治刹 地域 け在し やにする的	本 が、 に療み 域包 でEでで 重な ととケア とか で括 お療役 小圏 にへ のを 変を とり のをを 日 の の の とり の とり で は か り い	D 心 かく しらシ み行を 実お 農サポート という はってた いった いった いった いった いった いった いった いった いった いっ	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえたすべます。 ・ では、	県医人とは、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなので、いきないでは、いきないではないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これではないでは、これではないでは、これではないではないではないではないではないでは、これではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	環県提内疾治の一(代る)高がるシート的いいまど フタス はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん	医腹形見の生民 しで 進ら本の 原料に宅方を 壊骸を医者いす しょう ほよ制構 関ッじ族社会 はいかい とよ て地をに 関ッじ族社族 民、開 しる し、を築 関ッじ族社族 民、開 は で しょく て は で で に し に と に に ま で に に ま に ま	シ対い風で胎生やるく入のとしまで表と、「など」を表と、「など」を表と、「など」を表と、「など」を表している。です人の です。 できいます できい ない ない はい ない ない はい ない はい ない はい ない はい ない はい	をた。、・専階買て 年医 地方期れ 推心療べし援 でのいた を療 般的らたる 目療 に棟医す 高な制害いを充実療 般的の胎に 途介 あ、膝。 度な制害いを充 全成一 が機 のなの 別と (資本) あまだ 厚字をのい実	充能 医医対す・か こ後 佐問け   厚在補程現し	にないでいる。 能にいいはい病は、ものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	や が	<ul><li>ま 難てよ後雨 てに 病取域 重医を算す</li><li>を 持ている か期 も提 院、の 新をつが旅 供ビへ は は の いま で まている から は は は の いま で まている から は られる は は いる は いる から は られる は いる から は いる は いる から は いる は いる から は いる は いる いる いる は いる いる いる は いる いる</li></ul>	た、症すク新原に 慣れ 定時病 現ときぞう の 搬生取 れる をに院 患もまあ療 たー情報 送治刹 地域 け在し やにする的	本 が、 に療み 域包 でEでで 重な ととケア とか で括 お療役 小圏 にへ のを 変を とり のをを 日 の の の とり の とり で は か り い	D 心 かく しらシ み行を 実お 農サポート という はってた いった いった いった いった いった いった いった いった いった いっ	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
踏まえたすべきが表情にある。 はいままでは、	県医人とは、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなのことに、大きなので、いきないでは、いきないではないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これではないでは、これではないでは、これではないではないではないではないではないでは、これではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	環県提内疾治の一(代る)高がるシート的いいまど フタス はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん	医腹形見の生民 しで 進ら本の 原料に宅方を 壊骸を医者いす しょう ほよ制構 関ッじ族社会 はいかい とよ て地をに 関ッじ族社族 民、開 しる し、を築 関ッじ族社族 民、開 は で しょく て は で で に し に と に に ま で に に ま に ま	シ対い風で胎生やるく入のとしまで表と、「など」を表と、「など」を表と、「など」を表と、「など」を表している。です人の です。 できいます できい ない ない はい ない ない はい ない はい ない はい ない はい ない はい	をた。、・専階買て 年医 地方期れ 推心療べし援 でのいた を療 般的らたる 目療 に棟医す 高な制害いを充実療 般的の胎に 途介 あ、膝。 度な制害いを充 全成一 が機 のなの 別と (資本) あまだ 厚字をのい実	充能 医医対す・か こ後 佐問け   厚在補程現し	にないでいる。 能にいいはい病は、ものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	や が	<ul><li>ま 難てよ後雨 てに 病取域 重医を算す</li><li>を 持ている か期 も提 院、の 新をつが旅 供ビへ は は の いま で まている から は は は の いま で まている から は られる は は いる は いる から は られる は いる から は いる は いる から は いる は いる から は いる は いる いる いる は いる いる いる は いる いる</li></ul>	た、症すク新原に 慣れ 定時病 現ときぞう の 搬生取 れる をに院 患もまあ療 たー情報 送治刹 地域 け在し やにする的	本 が、 に療み 域包 でEでで 重な ととケア とか で括 お療役 小圏 にへ のを 変を とり のをを 日 の の の とり の とり で は か り い	D 心 かく しらシ み行を 実お 農サポート という はってた いった いった いった いった いった いった いった いった いった いっ	上 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											

- 〇協議・合意済の「具体的対応方針」に変更がある場合は、別添様式2にも記載ください。
- 〇記載欄が不足する場合は、記載欄を拡大するか、必要に応じて別紙資料(任意)を添付ください。

## 【こども病院】(千葉県立病院経営強化プラン案より抜粋)

### iii 医療機能等指標に係る数値目標

テーマ		医療機能指	標・厚	体的な取組		R7	R8	R9	R10
テーマ	中項目	1	小項目		単位	目標	目標	目標	目標
				新生児手術件数	件	63	64	65	66
医療機能に係るもの	1	全県対応型小児医療施設としての役割	2	手術件数(6歳未満)	件	820	834	849	864
	1	主宗列心主小元仏原心故としての収割	3	総手術件数	件	1,842	1,874	1,907	1,941
			4	救急車受入数	件	1,000	1,000	1,000	1,000
	2	<b>治験が受託研究の推進</b>	5	年間治験実施件数	件	10	10	10	10
		治験や受託研究の推進	6	年間受託研究実施件数	件	33	33	33	33
2	3	クリティカルパスの推進	7	クリティカルパス種類数	種	60	60	60	60
医療の質に係る	3	フリティカルハスの住屋	8	クリティカルパス適用数	件	1,800	1,800	1,800	1,800
もの	4	患者満足度の向上	9	患者満足度(入院)	点	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る
	4	50日/同足及のIJI上	10	患者満足度(外来)	点	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る	前年度実績 を上回る
	5	地域医療機関との連携強化	11	地域医療機関への訪問回数	件	3	3	3	3
連携の強化等に	6	地域住民・医療機関を対象とする講演 の推進	12	県民公開講座・公開カンファレンス	件	12	12	12	12
係るもの	7	在宅復帰に向けたサポート	13	在宅療養看護相談件数	件	7,000	7,000	7,000	7,000
	,	在七夜がに回りたりか   F	14	退院前・退院後訪問の実施	件	7	7	7	7
			15	看護学生実習受入数	人	230	230	230	230
	8	看護師の確保・定着・育成	16	離職率	%	6.5	6.5	6.5	6.5
	0	有受別の唯体・足信・自成	17	専門・認定看護師有資格者	人	21	22	21	21
その他				特定行為研修修了者	人	3	4	4	4
	9	臨床研修医の確保	19	後期・専門研修医の人数	人	7	7	7	7
	10	安全管理の徹底	20	IA総報告件数	件	2,000	2,000	2,000	2,000
	10	X T E 4 VIII.	21	レベル3b以上発生件数	件	0	0	0	0